

第2回

[日 時] 令和2年8月8日(土) 18:30~20:30

[場 所] 東松島市矢本東市民センター

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう~発信! 未来へ~

[使用したテキスト] 『耕人』第9-2号.pdf(塾長から塾生へのメッセージ)

[当日の流れ] ①塾長挨拶 ②講話 ③今後の活動計画検討 ④講評

[活動内容詳細]

●塾長挨拶(木村塾長)

はじめに木村塾長より、耕人塾における「人間力」について話がありました。「徳・知・体」三つの要素をバランスよく向上させるために、次の三つを大切にしてほしいということです。

- ①出会いを大事に、多くの方から学び、自分を深く耕してほしい。
- ②志を立て、新たなものに挑戦してほしい。失敗も新たな自分になる学びである。
- ③楽しんで活動してほしい。周りも楽しくさせたらなお素晴らしい。

最後に、耕人塾での出会いを通して、「人間力」を磨き、新たな自分をつくるきっかけにほしいという木村塾長の願いが語られました。



●講話「耕人塾の皆さんへ」

(講師：独立行政法人 国際協力機構東北センター 稲村友紀さん)

今回はJICA東北職員の稲村友紀さんを講師にお迎えし、稲村さん自身の経験を踏まえたお話から、人としての生き方や在り方等、その半生から得た「学び」について話をいただきました。

稲村さんは、高校の教員を経て、青年海外協力隊でタンザニアに派遣されました。その時の経験が生かされ、日本に戻ってからは、東日本大震災の被災地支援(石巻市雄勝、女川町)に当たり、現在に至っています。第一章「明るく前向き」、第二章「何でもチャレンジ」、第三章「マライカ」※注、第四章「東北での出会い」の4部構成で、幼少時代から現在に至るまでの楽しかったことやつらかったことなど、その経験から得られた言葉は塾生を大いに勇気付けてくれました。特に大切にしていることとして、「明るく前向き」であることと、「なんでもやってみる」という2つのことを挙げながら、すべてが自分のためになり、自分の経験こそが一番の学びであることを熱く語りました。そして実際の行動に移すことが、一步を踏み出すことにつながるという話は、今後、実践活動を進めようとしている塾生の背中を後押しするものでした。(※スワヒリ語で「天使」を意味するアフリカ歌謡)



●交流活動「今後の活動計画の検討」

「世界に誇れる石巻地域（ふるさと）にしよう！～発信！未来へ～」の具現化に向けて、今回は、「『志』を立てよう！」「どんなことをやってみたいか・できそうか考えよう！」というテーマで、教員と塾生が小グループに分かれて話し合いました。前回の耕人塾で考えたことを、更に深める活動となりました。



●講評（舩田運営副委員長）

最後に舩田運営副委員長より、講評として、野菜作りに例えた以下の話がありました。野菜は手をかけて「育てる」ときちんと「育つ」が、人間は環境が整っていても、「育つ意思」がなければ成長はないということ。稲村さんからもらった素晴らしい言葉を力に、「育つ意思」を確認しながら、一步を踏み出してほしいこと。そのためにはバックアップを惜しまないという励ましで締めました。



| | |
|---------------------|---|
| ホーム | ▼ |
| 耕人塾の活動 | ▼ |
| 令和2年度の活動 | ▼ |
| 第6回 閉塾式 | |
| 第5回 | |
| 実践活動（ゴミ拾い） | |
| 第4回 | |
| 「笑顔はぐくむ復興の森植樹会」への参加 | |
| 第3回 | |
| 第2回 | |
| 第1回 開塾式 | |
| 令和元年度の活動 | > |
| 平成30年度の活動 | > |
| 平成29年度の活動 | > |
| 平成28年度の活動 | > |
| 平成27年度の活動 | > |
| 平成26年度の活動 | > |
| 平成25年度の活動 | > |
| 平成24年度の活動 | |
| 報道・受賞 | |